



市民アンケートについて

令和4年7月28日



市民アンケートを実施する理由

市民の意見を確認するとともに、
都市計画マスタープランについて知ってもらうため

市民アンケートの目的

重点検討項目を委員会で検討する際の指標を得る事

- (1) 越前市というまちに対する市民の満足度及び課題の確認
- (2) これからのまちづくりで市民が重要と感じる事項の確認
- (3) 3つの拠点に対する市民意識の確認

本庁舎周辺を中心拠点
あいぱーく今立周辺の地域拠点
越前たけふ駅周辺の広域交流拠点

※拠点名称は現行の都市計画マスタープランにおけるもの

市民アンケートの設計方針

- (1) 回答しやすい設問順と、簡潔で分かりやすい文書
- (2) 回答を誘導しない設問内容、設問順、回答選択肢
- (3) 国勢調査等の上位統計調査と本アンケートにおける設問の重複回避
- (4) アンケートの対象エリアは越前市全域
- (5) 回答に要する時間は15分程度

アンケート設計

| 目的 | 問 | 設問内容 |
|----------------------------------|------|--|
| 回答者属性確認 | 1～5 | 性別、年代、居住地域、居住年数、交通手段 |
| 目的(1) まちに対する満足度と課題 | 6 | 4段階評価 満足、やや満足、やや不満、不満 重要、やや重要である、あまり重要ではない、重要ではない 土地利用、環境、景観 交通、都市施設、都市防災、市民参加 |
| 目的(2) これからのまちづくりで 重要と感じる事項 | 7～12 | 土地利用 交通 公園、緑地 景観 都市防災 市民参加 |
| 目的(3) 3つの拠点に対する意識 | 13 | 3拠点におけるまちづくりで大事と考える項目 (拠点ごとに3つずつ選択) |
| 目的(1)(2)(3) | 14 | 自由記入欄 |

アンケートの詳細は資料6参照

対象者

18歳以上の越前市民から無作為抽出

(※ただし総合計画市民アンケートの該当者は除く)

抽出数

2000人

標本数 $n=2000$ について

標本比率を R とすると、標本の大きさ n が大きい時、母比率 p に対する信頼区間は

$$\text{信頼度95\%の時} \quad \left[R - 1.96 \sqrt{\frac{R(1-R)}{n}}, R + 1.96 \sqrt{\frac{R(1-R)}{n}} \right]$$

信頼区間の幅を $\pm 5\%$ 以下にするには

$$1.96 \sqrt{\frac{R(1-R)}{n}} \leq 0.05$$

必要な調査対象者数が最大となる $R=0.5$ を採用し

$$1.96 \sqrt{\frac{0.5(1-0.5)}{n}} \leq 0.05$$

$$1.96 \sqrt{\frac{0.25}{n}} \leq 0.05$$

$$\sqrt{n} \geq 1.96 \sqrt{0.25} \times \frac{1}{0.05}$$

$$\sqrt{n} \geq 19.6$$

$$n \geq 19.6^2$$

$$n \geq 384$$

回収率を 25% と想定し

$$n = 2000 \times 0.25 = 500 \geq 384$$

送付予定月

令和4年9月

回答受付期間

送付日+20日程度

**アンケート結果速報値について
次回委員会で提示予定**